

公共交通オープンデータ最前線2025

# 経路探索事業者と交通事業者・自治体との関わり

ヴァル研究所の事例から

株式会社ヴァル研究所

基盤開発部 データ渉外チーム 坂本 和大

2025.03.01



## 坂本 和大 (さかもと かずひろ)

基盤開発部 データ渉外チーム 所属

2024年、乗り物好きが高じてヴァル研究所へ入社。

交通事業者・自治体等からのデータ提供の窓口や、掲載路線の新規開拓、事業者・自治体訪問など、交通事業者・自治体との架け橋になるべく修行の日々です。

休日は路線バスの後部座席で一人揺られています。



- 1 会社概要・「駅すばあと」について・ご紹介・データ利用例
- 2 当社におけるデータの二大ミッション
- 3 一次データにおけるポリシー
- 4 事業者・自治体との信頼関係の構築を図るために
- 5 いい関係でありたい

# 会社概要

駅すばあと

社名	株式会社ヴァル研究所
設立	1976年7月26日（49期）
所在地	東京都杉並区高円寺北 2-3-17
代表取締役	菊池 宗史
従業員数	175名（2024年7月1日現在）

## Mission

世の中の当たり前を変えることで、人々の可能性をひろげ活力に満ちあふれた社会を実現する

## Vishion

「思考の一步先」を提供する熱狂的イノベーションカンパニー



# 「駅すばあと」とは

駅すばあと

## 北海道から沖縄まで 日本全国の路線を網羅

「駅すばあと」は、1988年に日本で最初に発売された経路検索サービスです。

以降35年にわたり経路検索のパイオニアとして、鉄道・バス・航空・船など、日本全国の公共交通に関する多様な情報を保有し、公共交通機関の最適経路及び運賃情報を提供しています。



 LONG LIFE  
DESIGN 2018

鉄道だけでなく、船の海路図やコミュニティバスの路線図もご用意



### ≡ 水路の交通データ

フェリーなどの水路データもフェリーターミナルを入れることで検索することができます。



### ✕ 飛行機の交通データ

日本国内のすべての航空路線に対応しております。  
(一部離島同士のヘリ便等除く)



### ≡ バスの交通データ

路線バス、コミュニティバス、高速バスも網羅。類似製品の中では高いカバー率を誇っています。

# 主な「駅すぱあと」製品

駅すぱあと

「駅すぱあと」独自の経路検索エンジンに備えられた全国の公共交通機関データを幅広い製品に活用。プライベートでのお出かけや旅行などでの経路検索をはじめ、ビジネスシーンでの交通費精算や通勤定期代の支給計算などの法人向けサービスとも連携し、12万社以上の取引実績があります。



経路検索 / 駅情報 / 鉄道路線図などの機能を実装できる法人向けAPIです。



累計1,200万ダウンロードを超える、iOS・Android端末向け経路検索アプリです。



スマートフォンやパソコンで経路検索/時刻表検索/運行情報などがいつでも無料で利用できるWebサイトです。



— CONFIDENTIAL —



1988年の発売以来、豊富な情報量と様々な機能で利用者の移動を強力にバックアップします。



通勤費手当に関する申請・管理業務を一元化するクラウドサービスです。



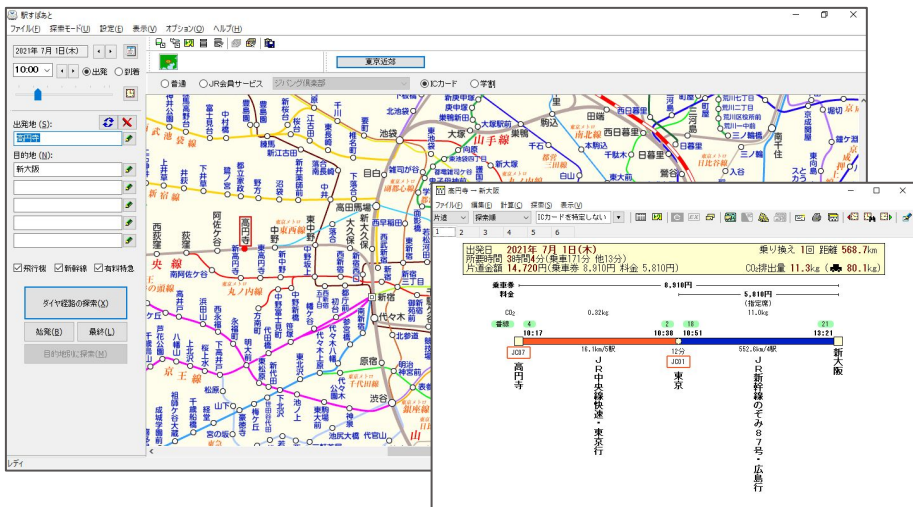
検索連動型広告や、位置情報を用いた精度の高い広告メニューを提供しています。

# 駅すばあとのご紹介

駅すばあと

PCやスマートフォンアプリでの乗換案内に、発着番線やエレベータなど駅の設備情報、運行情報、バス乗り場番号や緯度経度などを搭載しより総合的な案内ができるようデータ整備を進めております。

<パソコンソフト>



<スマートフォンアプリ>







- 掲載事業者・自治体のデータメンテナンス（掲載路線を最新に保つ）
  - ダイヤ改正や運賃改定など、内容に変更が発生した場合は、常に最新の情報を維持する。
- 未掲載自治体の新規対応（掲載路線を増やす）
  - コミュニティバスの新規対応作業を順次進めています。

⇒交通事業者、自治体等からの  
「一次データ」のご提供が必要不可欠！



- オープンデータの活用

- 弊社は「オープンデータだから無連絡で勝手に使ってよい」とは考えていない。
- 新規対応時にはご担当者との窓口を作るようにしている。

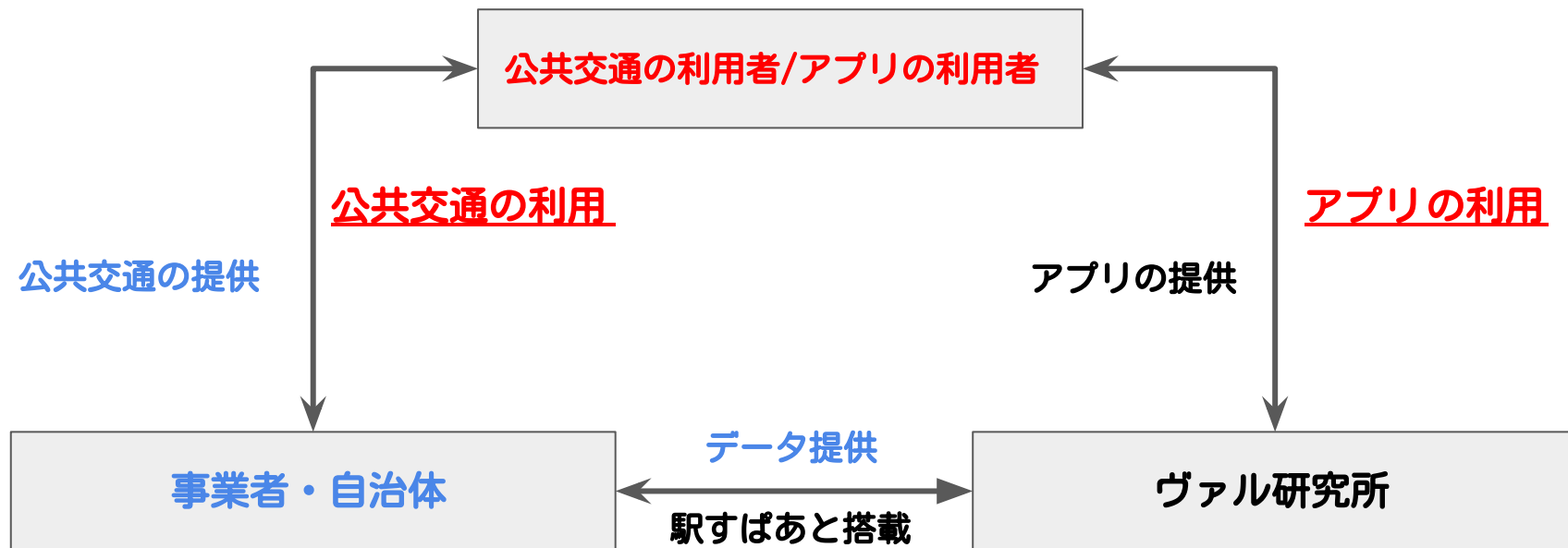
- データ内容の精査、品質向上は先方と協力する

- 当社側で不足や誤りの内容を整理し先方のご担当者様にお伝えする ことがある。
- 事業者・自治体より掲載内容についてお問い合わせをいただくこともある。

⇒事業者・自治体と相互にやり取りすることでデータ品質の向上を目指す

- データをやり取りするだけでもいいかもしれないが…
  - 経路探索の業務は事業者・自治体の理解・協力がなければ遂行できない
  - だから…
- 事業者や自治体のご担当者と「**会って話す**」
  - 事業者・自治体の訪問
  - イベントや勉強会等への参加（本日も！）

⇒ 「画面の向こうの担当者」ではなく、「〇〇さん」を知ることが大切



- 三者のどこが欠けてもうまくいかない

⇒ 全員にとってメリットがある「いい関係」

ご清聴ありがとうございました。

事業者・自治体に負担がかからない形で  
データのご提供をいただけるよう、今後も取り組んでまいります。  
そして正確な経路探索の案内を通じて、公共交通の活性化に寄与してまいります。